

日高線における災害対策の概算工事費と必要工期について

1. 対策の概算工事費と必要工期

○対策案 A

対策項目		施工延長	概算工事費	必要工期
護岸対策	根固工	約 3,300m	約 42 億円	護岸改築 4,500m、 吹付砕工 1,100m の 施工には、長期間 を要する見込み
	消波ブロック	約 1,500m		
	護岸改築	約 4,500m		
	のり面工	約 150m		
	護岸修繕	約 200m		
斜面对策	落石防護網	約 500m	約 15 億円	
	落石止擁壁	約 100m		
	吹付砕工	約 1,100m		
	既存設備修繕	約 1,600m		
総 額			約 57 億円	—

○対策案 B（対策を必要最小限として列車徐行 25km/h により安全を確保）

対策項目		施工延長	概算工事費	必要工期
護岸対策	根固工	約 3,300m	約 24 億円	約 30 ヶ月 ^{※1}
	消波ブロック	約 1,500m		
	のり面工	約 150m		
	護岸修繕	約 200m		
斜面对策	落石防護網	約 500m	約 2 億円	約 12 ヶ月 ^{※2}
	落石止擁壁	約 100m		
	既存設備修繕	約 1,600m		
総 額			約 26 億円	約 30 ヶ月

※1：工事施工が可能な期間は 4 月～10 月の 7 ヶ月間となります。

工事期間中は列車の運行がないことを前提としています。

※2：斜面对策は護岸対策と並行して実施することを想定しています。

2. 今後当社として着手すること

(1) 護岸の詳細調査

- ・ 期間：4 月 14 日～5 月 18 日 35 日間
- ・ 内容：護岸壁の壁面及び基礎部調査、護岸壁背面の空洞調査

(2) 対策工事に向けた準備工事

- ・ 期間：4 月 28 日～6 月 16 日 50 日間
- ・ 内容：工事用通路の整備、被災した護岸壁の吸出し防止工事

(3) 対策工事に向けた実施設計

- ・ 期間：5 月末～9 月末 4 ヶ月間
- ・ 内容：各種工事の詳細設計、施工計画の策定